



興 照 寺 報

令和元年7月

69号

発行 浄土真宗 興 照 寺
〒890-0045 鹿児島市武一丁目25番12号
電話 099-254-3269 (代)FAX 099-254-0303



『本堂改築・納骨堂増設の予定変更』について
完成予定が、来年末に変更になりました。
(二面・三面に関連文)

お知らせ



昭和35年 本堂落慶祝いの稚児行列の様子

- 一頁 お知らせ、『わがふり気付く』
- 二頁 本堂改築・納骨堂増設計画
- 三頁 本堂改築・納骨堂増設計画、役員紹介
- 四頁 行事案内とお願い

「わがふり気付く」

曾我量深師そがりょうしんが「人の振り見て我が振り直せ」という諺があるが、真宗は「人の振り見て我が振り気付け」でしょう」と言われたそうです。善導大師の二種深信にも「自身は現に是れ罪悪深重の凡夫・・・出離との縁有ること無き身と知れ」とあり、それを受けて『歎異抄』後序にも「われらが、身の罪悪の深きほどを知らず、如来の御恩の高きことをも知らずして迷えるを、思い知らせんがため」とあります。蓮如上人の「お文」には繰り返して「罪の深きあさましき身を思い知つて」「思いとりて」とあり、罪の身を「やめて」「直して」とはありません。

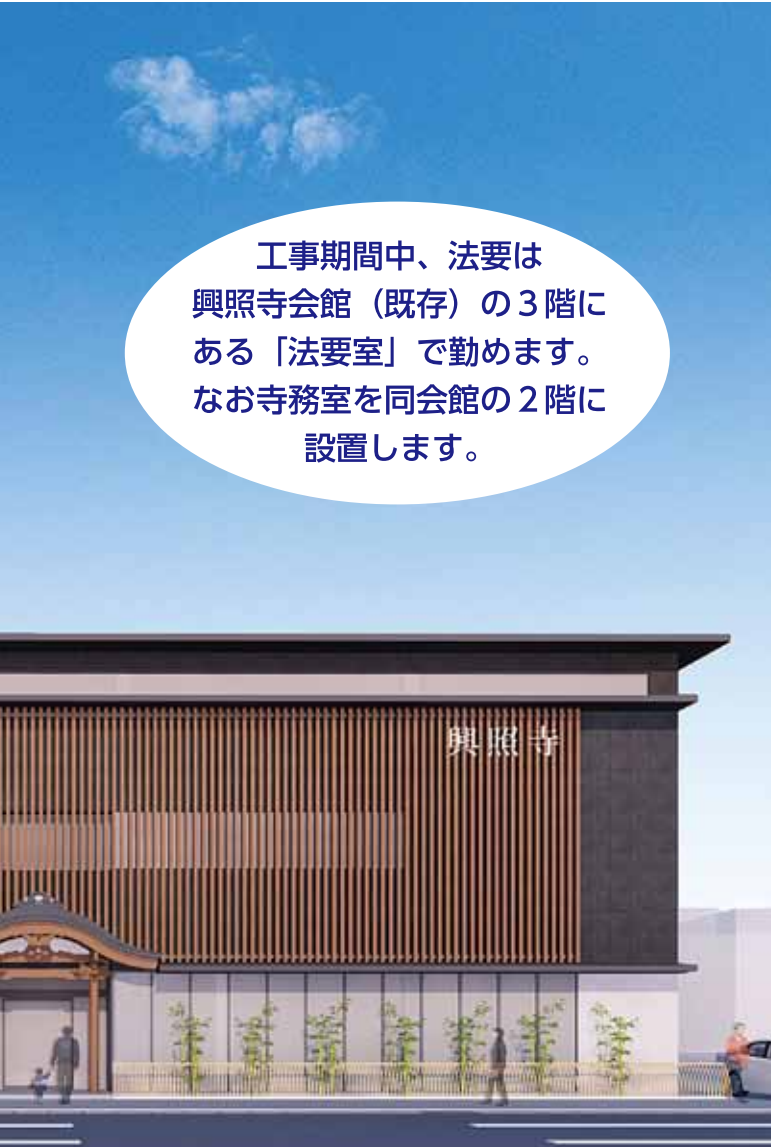
嘸鳥まどり敏師びんしにある青年が「先生、そんなただ気付くだけではなんにもならないのではないですか。やはり、やめるとか直すとか努力するのは違いますか。」と問うと、先生は、「自分のすわつとる場所が、肥溜の中だと気付かされたら、気付いたまんまでじつとしとるつもりか。気付きさえすれば、ひとりでに身が飛び出す。人間はそうなっておるのだ」と言われたと言います。

やめる、直すは、それができればそれにこしたことはない、しかし全ての人が出来るとは言えない。やめる、直すより気付くことの方がより根源的で自然でありそんな私にお念仏は、気付けよ“”目覚めよ“とご催促下さっているのではないのでしょうか。

【亀井 鑛「聞法一〇〇話」参照】

(英清記)

骨堂 完成イメージ



工事期間中、法要は興照寺会館（既存）の3階にある「法要室」で勤めます。なお寺務室を同会館の2階に設置します。

来年七月末完成を目指して準備を進めて参りましたが、諸般の事情（資材不足・人手不足など）により、完成が遅れることになりました。現時点で来年末、完成の予定です。
新しい納骨堂を検討中の方々、二階納骨堂をご利用の方々に、ご迷惑をおかけしますことをお詫び申し上げます。

ご寄付のお願い

「本堂」は、お寺の中心になる大切な場所です。

六十年ぶりの本堂改築という大きな事業を行うにあたり皆さんにご支援（ご寄付）をお願いいたします。

後日「趣意書」を送らせていただきますが、寄付の要領として左記のように三口以上を『永代経志納の扱い（希望による）』にさせていただきます。

- ① 一口二万円
- ② 三口以上を『永代経志納』
三口六万円 || 永代経一人分
五口十万円 || 永代経二人分
- ③ 払込み方法
郵便振込、銀行振込
(分割可)

あくまでも任意ですが、興照寺のこれからの発展に資するようご協力をよろしくお願い申し上げます。

興照寺 本堂・納骨



鉄骨造りの三階建てになり
ます。

一階は道路面と同じ高さ
で、本堂を中心に受付・寺務
室・法務準備室・控室・職員
の休憩室を配置、玄関脇にロ
ビーと談話スペース、和室の
研修室を設けます。

本堂は収容人数が約百十
名、内陣（正面の本尊を安置

してある一段高い所）も約
一・五倍ほど広くなります。

二階には法要室・休憩室・
多目的ホール・談話室、そし
て合同墓を設ける予定です。
三階は納骨堂のスペースに
なります。従来型の納骨壇

多段式の納骨壇（収納壺数
二）を新たに設置します。リ

ラックスできる空間を設けた
いと考えています。

（英憲記）



寺役員紹介

代表役員

瀬川 英憲

責任役員

永田静一郎、久永 修平

馬場 正蔵、川井田 學

有村 忠、瀬川 英清

監事

丸山 賢治、牧野田栄一

総代

井ノ上英記、永家 俊三

村田 隆、福留 積治

有馬 純博、竹井 勝志

御領 勝芳、田中 藤雄

大山 康成、宇治野玲子

稲留 靖子、上西園 豊

山下 良一、瀬川 明彦
（順不同・敬称略）

長年監事を務められた高山
銀次郎氏が退任され、新たに
牧野田栄一氏が就任されまし
た。

また、総代に上西園豊氏、
山下良一氏、瀬川明彦氏の三
名が就任されました。

「高山銀次郎さん、ありが
とございました。」

秋季彼岸法要のご案内

九月	午前 十時より	午後 二時より
二十日(金)	○	○
二十一日(土)	○	吹上
二十二日(日)	吹上	吹上
二十三日(月)	○	○
お中日	○	○

(○)の日時にあります

・講師 筑波 英道先生

(山口県)

(会館三階法要室で行ないます)

秋季永代経法要のご案内

・期日 十月十九日(土)

十月二十日(日)

・時間 朝席 十時より

昼席 二時より

・講師 藤岡 孝教先生

(熊本県)

(会館三階法要室で行ないます)

※どなたでも聴聞できます。

気軽に参加ください。

報恩講のご案内

・日 十一月二十四日(日)

・時間 朝席 九時半より

昼席 二時より

・講師 福高 英昭先生

(福岡県)

(会館三階法要室で行ないます)

お盆参りについてお願い

初盆や寺でのお勤めを希望された方には日時などを書いて文書を同封してあります。自宅での参りを希望された方は、日時などお約束できませんのでご了承ください。

お盆中の納骨堂のお参りについて

八月の十三日・十四日・十五日は閉館時間を午後九時にします。午前九時頃から午後三時頃までは寺での法要と重なり駐車場が混雑しますのでご注意ください。また、長時間の駐車もご遠慮ください。

花まつり・帰敬式・和順会総会が開かれました

法要後の懇親会を今年も寺の駐車場で行いました。特設の舞台の上で踊りやカラオケ、手品などが披露されたあと、抽選会もあり楽しいひと時を過ごすことができました。

門徒会費・納骨堂管理費納入のお願い

今年度門徒会費および納骨堂管理費が未納の方がおられます。ご確認の上、納入をお願いいたします。



あとがき

令和という新しい時代が幕を開けました。興照寺も新しい体制で、新たな歴史を刻んでゆかなくてはなりません。門徒の皆さんの温かい励ましを支えに、本堂改築など将来に向けた大きな事業をしっかりと進めていきたいと思っています。(英憲記)

